

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	観光資源保護活用事業	会計	一般会計	事業No.	475	施策順No.	11-048
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-4-11-3		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	観光課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	20	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内の温泉事業者 ＜支援対象活動＞温泉利用に結び付けるための施設整備と温泉観光を推進するための環境づくり								A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度			
		温泉として利用している施設数		13	13	13	13			
	意図	宿泊客数を増加させるため温泉への誘客環境の改善と整備、支援を行う								
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度		
	整備された箇所数と温泉観光を推進するための活動数		10	11	10	15	15	A		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	・宿泊客数を増加させるための名桜ライトアップ事業に対する活動(パンフレット作成、情報発信)を重点的に実施した。 ・また、温泉施設の法定点検である水質検査を12施設で実施し補助することができた。									

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	入湯税は目的税であり、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設等、観光振興のための財源に充てるものである。(地方税法) 温泉観光の誘客促進につながる施設整備を通じて温泉事業者の活性化を促進する。 温泉利用客の増加を通じて、温泉資源の効果的活用に関与する。 温泉の泉質及び施設周辺の環境を整備する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	温泉観光施設の施設整備と周辺環境整備事業 1 温泉地への誘導看板等設置 2 観光マップの作成 3 安全な泉質維持のための補助	整備等の内容 1 看板設置・整備箇所数 2 パンフレット作成部数 3 水質検査補助施設数	1 1箇所 2 21,000部 3 12施設
23年度実施計画	温泉観光施設の施設整備と周辺環境整備事業 1 温泉地への誘導看板等設置 2 観光マップの作成 3 安全な泉質維持のための補助	整備等の内容 1 看板設置・整備箇所数 2 パンフレット作成部数 3 水質検査補助施設数	1 2箇所 2 20,000部 3 13施設

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		2,000	1,811	2,000		
計(A)		2,000	1,811	2,000		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			1,811			

4 事業に対する市民や議会の意見

入湯税は目的税であり、主に鉱泉源の保護管理にあてるべきである。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額(億円) 経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 温泉観光施設の誘客促進につながる誘導看板やロードマップを作成したことで温泉誘客につなげてきた。 また、水質検査費用を補助することで入湯税の納税に協力をいただいている。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 温泉観光施設によっては、鉱泉源の保護管理費用への補助を要望する施設もあり、飯田市としての支援方針を検討し各施設へ示す必要がある。 		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊客を獲得するための名桜ライトアップ事業を強く推し進めることができた。 主要な幹線道路等へ誘導看板を設置し温泉誘客につなげてきた。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 実際に温泉観光施設が望む支援内容について調査する必要がある。 		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 全温泉観光施設が掲載されたロードマップを作成することができた。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 入湯税を活用した使途のためコスト削減は理解されない。 		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 適正であった。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ①温泉観光施設は徹底した安全品質管理の向上と宿泊客獲得のための営業努力が行われてきた。 ②行政はそのための費用補助と、温泉ブランドの確立に向けた情報発信を支援することで役割分担ができています。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 入湯税を活用した使途のため積極的な支援が求められるが、何をどこまで支援するのか方針を明確にする必要がある。 		
全体を通じて	4年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 入湯税を活用した使途のため、温泉観光施設をアピールした情報発信に努めてきた。 また、温泉観光施設に限らず観光誘客のための宣伝活動に力を入れることで誘客につなげてきた。 		
	後期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> 近隣に大型の温泉観光施設があるため市内への誘客には難しい点もあるが、温泉と観光施設を組み合わせた商品の情報発信や売込みが課題である。 支援制度について飯田市の方針が求められる。 		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--